

平成 17 年 5 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社ニッカトー
代表者名 代表取締役社長 西村 隆
(コード番号：5367)
問合せ先 取締役総務部長 紀ノ岡 隆一郎
電 話 072-238-3641

(追加)平成17年3月期 決算短信(非連結)の一部追加について

平成 17 年 5 月 12 日付で発表いたしました「平成 17 年 3 月期 決算短信(非連結)」に一部記載漏れがありましたので、下記のとおり追加させていただきます。

記

追加箇所

5 ページ、9.業務を執行した公認会計士の概要等の下欄

- ・ 親会社等に関する事項

該当事項はありません。

- ・ 内部管理体制の整備・運用状況

当社の内部管理体制はセラミックスとエンジニアリングの両営業部門、製造部門、研究開発・品質保証部門、総務・経理の管理部門からなり、各部門間で相互牽制が働く組織となっております。また、委託される取締役についても兼務はなく分離されております。さらに社長直轄の経営管理室を設置し、専任スタッフ 1 名と臨時に任命された内部監査人により、内部監査規程に基づき毎年度計画的に内部監査を実施しております。

最近 1 年間において、牽制組織整備のための組織改正を実施したり、内部監査の強化による監査内容のさらなる充実を図り、成果をあげております。

6 ページ、(当期のキャッシュ・フローの状況)の下欄

- ・ 事業等のリスク

当社の経営成績、株価及び財務状況等に影響を及ぼす可能性のあるリスクには以下のよう
なものがあります。

- (1) 電子部品業界向けの売上構成比率が高いことについて

セラミックス部門、エンジニアリング部門のそれぞれの市場売上構成比率の推移は下記のとおりであります。昨今のIT(情報技術)の発達に伴い、IT分野関連の電子部品向けの売上構成比率が、主要部分を占めており、平成 17 年度 3 月決算期においてもセラミックス部門で 55.2%、エンジニアリング部門で 23.2%と極めて高いウエイトとなっております。したがって、電子部品業界の景況動向によって当社の業績も大きく左右される状況にあります。

市場別売上構成比率

セラミックス部

	電子部品 (%)	化学・鉄鋼・窯業 (%)	半導体 (%)	環境・エネルギー (%)		その他 (%)
平成15年3月期	49.4	18.0	4.8	7.9		19.9
平成16年3月期	47.8	17.1	3.3	11.2		20.6
平成17年3月期	55.2	16.2	3.1	10.8		14.7

エンジニアリング部

	電子部品 (%)	化学・鉄鋼・窯業 (%)	半導体 (%)	環境・エネルギー (%)	自動車・重機 (%)	その他 (%)
平成15年3月期	21.7	9.0	19.2	16.4	22.8	10.9
平成16年3月期	28.8	5.7	21.6	13.8	21.7	8.4
平成17年3月期	23.2	6.9	16.6	18.1	28.2	7.0

(2) 特定の仕入先への依存度が高いことについて

当社は、セラミックス部門において原材料仕入金額のうち 5 割以上を東ソー株式会社から仕入れております。これは、原材料仕入金額のうち原料単価の高いジルコニアが約 62%を占めますが、ジルコニア仕入れの 9 割以上を東ソー株式会社から仕入れているからであります。

東ソー株式会社への仕入依存度が高い理由としましては、原料の安定性が優れていることに加え、主力製品であります Y T Z ボールを東ソー株式会社の協力の下に共同開発できた経緯や海外向けは東ソー株式会社が Y T Z ボールの販売権を有していること等があげられます。

一応、他社品での代替仕入は可能ではありますが、上記事由により現状の原材料仕入金額の約 5 割強を 1 社から仕入れているリスクはあります。

17 ページ、(退職給付関係)の下欄

・ (持分法損益等)

前事業年度(自平成 15 年 4 月 1 日 至平成 16 年 3 月 31 日)および当事業年度(自平成 16 年 4 月 1 日 至平成 17 年 3 月 31 日)ともに関連会社はなく、該当事項はありません。

・ (関連当事者)

前事業年度(自平成 15 年 4 月 1 日 至平成 16 年 3 月 31 日)
該当事項はありません。

当事業年度(自平成 16 年 4 月 1 日 至平成 17 年 3 月 31 日)
該当事項はありません。

以上